

## 参考資料一覧(岡山県医療対策協議会)

### 【岡山県の医師の状況】

- (1) 診療科別の医師数(全体及び2次医療圏別：H10、H14、H18) . . . . . 1
- (2) 年齢階級別・男女別人数 (H18) . . . . . 7
- (3) 臨床研修病院 研修医(1年目)受入数 . . . . . 8

### 【その他】

- (4) 岡山県の小児救急医療提供状況について . . . . . 9
- (5) 岡山県の周産期医療体制について . . . . . 10
- (6) 岡山県医師確保総合対策について . . . . . 11
- (7) 平成21年度の医師確保総合対策事業について(素案) . . . . . 12
- (8) 平成21年度岡山県看護職員確保対策事業について(素案) . . . . . 13
- (9) 医師事務作業補助者(医療クラーク)について . . . . . 14

## 診療科別の医師数(岡山県全体)

	10年度	14年度	18年度	増減数 18年-10年	増減率(%) 18年/10年
内科	1560	1660	1534	△ 26	△ 1.7
外科	499	496	434	△ 65	△ 13.0
整形外科	306	342	314	8	2.6
小児科	232	255	248	16	6.9
精神科	206	236	239	33	16.0
眼科	202	197	207	5	2.5
研修医			193	193	18年新規調査
産婦人科	161	175	157	△ 4	△ 2.5
耳鼻いんこう科	150	162	151	1	0.7
消化器科(胃腸科)	74	72	133	59	79.7
脳神経外科	111	123	126	15	13.5
循環器科	81	105	119	38	46.9
麻酔科	115	139	119	4	3.5
その他	92	82	118	26	28.3
放射線科	101	104	115	14	13.9
皮膚科	114	117	114	0	増減なし
泌尿器科	83	93	99	16	19.3
神経内科	48	53	59	11	22.9
呼吸器科	25	32	53	28	112.0
形成外科	31	49	49	18	58.1
リハビリテーション科	27	38	48	21	77.8
心臓血管外科	42	53	43	1	2.4
不詳	52	22	37	△ 15	△ 28.8
救命救急			36	36	18年新規調査
病理			26	26	18年新規調査
婦人科	31	15	23	△ 8	△ 25.8
呼吸器外科	9	9	22	13	144.4
小児外科	10	9	19	9	90.0
心療内科	12	13	18	6	50.0
リウマチ科	5	6	16	11	220.0
全科	7	13	15	8	114.3
産科	5	7	10	5	100.0
こう門科	8	7	8	0	増減なし
美容外科	4	8	6	2	50.0
アレルギー科	6	6	2	△ 4	△ 66.7
神経科	3	6	2	△ 1	△ 33.3
性病科	0	1	0	0	増減なし
合計	4412	4705	4912	500	11.3

出典: 医師・歯科医師・薬剤師調査(12月31日現在)

## 診療科別の医師数(県南東部保健医療圏)

	10年度	14年度	18年度	増減数 18年-10年	増減率(%) 18年/10年
内科	815	827	790	△ 25	△ 3.1
外科	253	258	210	△ 43	△ 17.0
整形外科	175	189	170	△ 5	△ 2.9
精神科	132	154	158	26	19.7
小児科	132	150	138	6	4.5
研修医			119	119	18年新規調査
眼科	127	109	113	△ 14	△ 11.0
産婦人科	89	86	95	6	6.7
耳鼻いんこう科	91	92	79	△ 12	△ 13.2
麻酔科	80	92	78	△ 2	△ 2.5
脳神経外科	60	70	74	14	23.3
消化器科(胃腸科)	38	39	73	35	92.1
皮膚科	72	76	71	△ 1	△ 1.4
循環器科	48	62	66	18	37.5
泌尿器科	39	53	58	19	48.7
放射線科	46	47	58	12	26.1
神経内科	26	33	31	5	19.2
心臓血管外科	30	42	31	1	3.3
形成外科	9	23	27	18	200.0
不詳	18	16	24	6	33.3
呼吸器科	14	22	23	9	64.3
その他	31	40	21	△ 10	△ 32.3
リハビリテーション科	13	18	18	5	38.5
呼吸器外科	5	3	15	10	200.0
救命救急			15	15	18年新規調査
病理			14	14	18年新規調査
小児外科	4	3	12	8	200.0
全科	2	11	12	10	500.0
心療内科	5	5	7	2	40.0
産科	3	6	7	4	133.3
婦人科	14	9	6	△ 8	△ 57.1
美容外科	4	7	5	1	25.0
リウマチ科	0	0	3	3	皆増
神経科	3	4	2	△ 1	△ 33.3
こう門科	2	2	2	0	増減なし
アレルギー科	3	0	0	△ 3	皆減
合計	2383	2548	2625	242	10.2

出典: 医師・歯科医師・薬剤師調査(12月31日現在)

診療科別の医師数(県南西部保健医療圏)

	10年度	14年度	18年度	増減数 18年-10年	増減率(%) 18年/10年
内科	517	588	538	21	4.1
外科	175	171	161	△ 14	△ 8.0
整形外科	94	111	105	11	11.7
その他	60	39	96	36	60.0
小児科	78	82	86	8	10.3
眼科	62	70	80	18	29.0
耳鼻いんこう科	47	56	61	14	29.8
研修医			60	60	18年新規調査
放射線科	50	53	52	2	4.0
精神科	50	54	50	0	増減なし
消化器科(胃腸科)	27	25	48	21	77.8
産婦人科	58	70	44	△ 14	△ 24.1
循環器科	22	34	40	18	81.8
脳神経外科	32	39	40	8	25.0
麻酔科	32	40	39	7	21.9
泌尿器科	35	35	36	1	2.9
皮膚科	33	34	34	1	3.0
リハビリテーション科	14	18	28	14	100.0
神経内科	22	20	26	4	18.2
呼吸器科	9	7	25	16	177.8
形成外科	21	23	18	△ 3	△ 14.3
救命救急			16	16	18年新規調査
婦人科	14	4	15	1	7.1
リウマチ科	5	6	13	8	160.0
病理			11	11	18年新規調査
心療内科	6	6	10	4	66.7
心臓血管外科	8	6	9	1	12.5
不詳	16	1	8	△ 8	△ 50.0
呼吸器外科	4	5	6	2	50.0
小児外科	6	6	5	△ 1	△ 16.7
こう門科	5	4	5	0	増減なし
産科	2	1	3	1	50.0
アレルギー科	3	6	2	△ 1	△ 33.3
美容外科	0	1	1	1	皆増
全科	1	1	1	0	増減なし
合計	1508	1616	1772	264	17.5

出典:医師・歯科医師・薬剤師調査(12月31日現在)

診療科別の医師数(高梁・新見保健医療圏)

	10年度	14年度	18年度	増減数 18年-10年	増減率(%) 18年/10年
内科	48	51	50	2	4.2
外科	19	14	12	△ 7	△ 36.8
整形外科	12	13	11	△ 1	△ 8.3
精神科	7	6	8	1	14.3
小児科	6	6	5	△ 1	△ 16.7
眼科	2	5	4	2	100.0
脳神経外科	11	5	3	△ 8	△ 72.7
産婦人科	4	2	2	△ 2	△ 50.0
循環器科	3	1	1	△ 2	△ 66.7
婦人科	0	1	1	1	皆増
耳鼻いんこう科	1	1	1	0	増減なし
皮膚科	1	0	1	0	増減なし
不詳	0	0	1	1	皆増
心療内科	1	0	0	△ 1	皆減
泌尿器科	1	0	0	△ 1	皆減
リハビリテーション科	0	1	0	0	増減なし
放射線科	1	0	0	△ 1	皆減
全科	2	0	0	△ 2	皆減
その他	1	1	0	△ 1	皆減
合計	120	107	100	△ 20	△ 16.7

出典: 医師・歯科医師・薬剤師調査(12月31日現在)

## 診療科別の医師数(真庭保健医療圏)

	10年度	14年度	18年度	増減数 18年-10年	増減率(%) 18年/10年
内科	40	41	31	△ 9	△ 22.5
外科	23	24	19	△ 4	△ 17.4
精神科	0	5	7	7	皆増
整形外科	7	7	7	0	増減なし
脳神経外科	3	4	3	0	増減なし
産婦人科	2	3	3	1	50.0
耳鼻いんこう科	2	3	2	0	増減なし
皮膚科	1	0	2	1	100.0
呼吸器科	1	0	1	0	増減なし
循環器科	3	2	1	△ 2	△ 66.7
小児科	2	3	1	△ 1	△ 50.0
婦人科	1	1	1	0	増減なし
眼科	0	1	1	1	皆増
泌尿器科	3	2	1	△ 2	△ 66.7
放射線科	3	2	1	△ 2	△ 66.7
全科	1	1	1	0	増減なし
不詳	5	1	1	△ 4	△ 80.0
神経科	0	1	0	0	増減なし
心臓血管外科	0	1	0	0	増減なし
麻酔科	1	0	0	△ 1	皆減
合計	98	102	83	△ 15	△ 15.3

出典: 医師・歯科医師・薬剤師調査(12月31日現在)

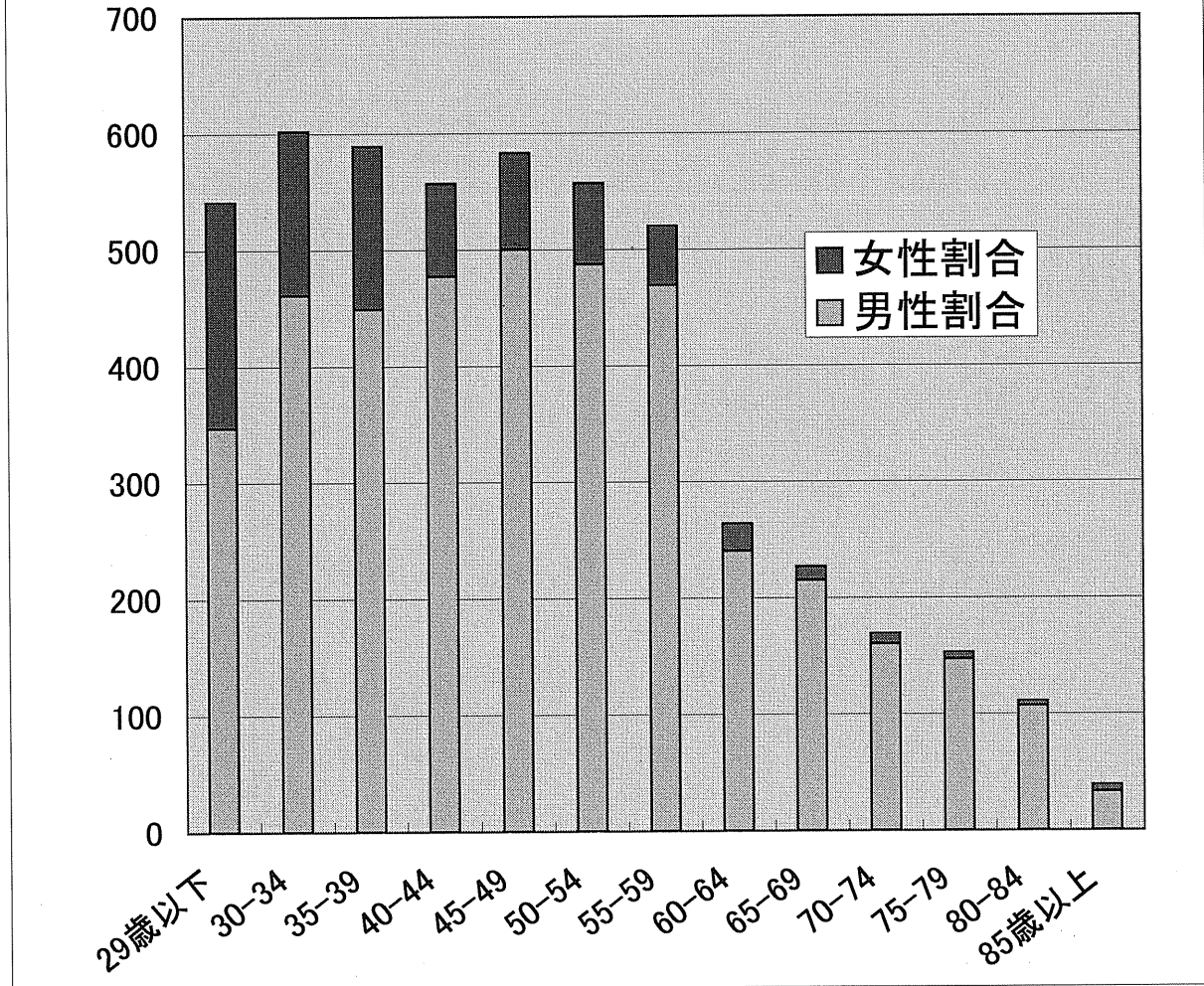
診療科別の医師数(津山・英田保健医療圏)

	10年度	14年度	18年度	増減数 18年-10年	増減率(%) 18年/10年
内科	140	153	125	△ 15	△ 10.7
外科	29	29	32	3	10.3
整形外科	18	22	21	3	16.7
小児科	14	14	18	4	28.6
精神科	17	17	16	△ 1	△ 5.9
研修医	0	0	14	14	18年新規調査
産婦人科	8	14	13	5	62.5
消化器科(胃腸科)	9	8	12	3	33.3
循環器科	5	6	11	6	120.0
眼科	11	12	9	△ 2	△ 18.2
耳鼻いんこう科	9	10	8	△ 1	△ 11.1
脳神経外科	5	5	6	1	20.0
皮膚科	7	7	6	△ 1	△ 14.3
救命救急	0	0	5	5	18年新規調査
呼吸器科	1	3	4	3	300.0
形成外科	1	3	4	3	300.0
泌尿器科	5	3	4	△ 1	△ 20.0
放射線科	1	2	4	3	300.0
心臓血管外科	4	4	3	△ 1	△ 25.0
不詳	13	4	3	△ 10	△ 76.9
神経内科	0	0	2	2	皆増
小児外科	0	0	2	2	皆増
リハビリテーション科	0	1	2	2	皆増
麻酔科	2	7	2	0	増減なし
心療内科	0	2	1	1	皆増
呼吸器外科	0	1	1	1	皆増
こう門科	1	1	1	0	増減なし
病理	0	0	1	1	18年新規調査
全科	1	0	1	0	増減なし
その他	0	2	1	1	皆増
婦人科	2	0	0	△ 2	皆減
合計	303	330	332	29	9.6

出典: 医師・歯科医師・薬剤師調査(12月31日現在)

○ 医療施設従事医師年齢階級別・男女別人数について

岡山県医療施設従事者男女別人数(平成18年度)



岡山県	総数	29歳以下	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85歳以上	平均年齢
総数	4,912	541	602	589	557	583	557	520	264	227	169	153	111	39	47.9
男性	4,092	347	461	449	477	500	487	469	240	215	160	147	107	33	49.4
女性	820	194	141	140	80	83	70	51	24	12	9	6	4	6	40.6
男性割合	83.3%	64.1%	76.6%	76.2%	85.6%	85.8%	87.4%	90.2%	90.9%	94.7%	94.7%	96.1%	96.4%	84.6%	
女性割合	16.7%	35.9%	23.4%	23.8%	14.4%	14.2%	12.6%	9.8%	9.1%	5.3%	5.3%	3.9%	3.6%	15.4%	

【出典：医師・歯科医師・薬剤師調査(平成18年12月31日現在)】



臨床研修病院 研修医(1年目)受入数

(単位:人)

No.	病 院 名	16年度	17年度	18年度	19年度	19年度定員
1	国立病院機構 岡山医療センター	9	13	15	15	15
2	独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山労災病院	4	6	3	1	6
3	岡山大学病院	16	6	13	11	32
4	総合病院岡山市立市民病院	6	5	5	5	6
5	総合病院岡山赤十字病院	12	11	12	10	11
6	社会福祉法人恩賜財団済生会 岡山済生会総合病院	14	12	13	11	12
7	川崎医学振興財団 川崎医科大学附属川崎病院	4	4	6	2	9
8	総合病院岡山協立病院	1	1	4	1	4
9	特定医療法人鴻仁会 岡山中央病院	1	0	6	3	4
10	総合病院玉野市立玉野市民病院	0	0	1	0	2
11	川崎医科大学附属病院	36	34	30	29	68
12	倉敷市立児島市民病院	2	2	1	2	2
13	倉敷中央病院	24	24	27	23	25
14	総合病院水島協同病院	3	5	1	3	5
15	医療法人水和会 総合病院水島中央病院	1	0	2	2	2
16	倉敷成人病センター	1	3	2	2	4
17	津山中央病院	7	8	6	11	12
合	計	141	134	147	131	219

## 岡山県の小児救急医療提供状況について

医療圏	区分	平 日		休 日		
		(準夜間) 18:00~23:00	(深夜) 23:00~翌9:00	(昼間) 9:00~18:00	(準夜間) 18:00~23:00	(深夜) 23:00~翌9:00
県南東部	初期救急	<岡山市休日夜間急患診療所>		<在宅当番>各医師会 <岡山市休日夜間急患診療所>	<岡山市休日夜間急患診療所>	
	二次救急	<輪番病院> 岡山労災病院 総合病院岡山市立市民病院 岡山済生会総合病院 川崎医科大学附属川崎病院 総合病院岡山赤十字病院 国立病院岡山医療センター		<輪番病院> 岡山労災病院 総合病院岡山市立市民病院 岡山済生会総合病院 川崎医科大学附属川崎病院 総合病院岡山赤十字病院 国立病院岡山医療センター		
	三次救急	<救命救急センター>総合病院岡山赤十字病院		<救命救急センター>総合病院岡山赤十字病院		
県南西部	初期救急	<倉敷市休日夜間急患センター> 23:30まで		<在宅当番>各医師会 <倉敷市休日夜間急患センター>	<倉敷市休日夜間急患センター>23:30まで	
	二次救急	倉敷中央病院 川崎医科大学附属病院		倉敷中央病院 川崎医科大学附属病院		
	三次救急	<救命救急センター>川崎医科大学附属病院		<救命救急センター>川崎医科大学附属病院		
高梁・新見	初期救急	<新見市休日・準夜間診療所> 21:00まで		<在宅当番>各医師会 <新見市休日・準夜間診療所>		
	二次救急	倉敷中央病院 川崎医科大学附属病院		<輪番病院> 《高梁》 高梁中央病院 大杉病院 高梁市国保成羽病院 《新見》 新見中央病院 太田病院 渡辺病院 長谷川記念病院	倉敷中央病院 川崎医科大学附属病院	
	三次救急	<救命救急センター>川崎医科大学附属病院		<救命救急センター>川崎医科大学附属病院		
真庭	初期救急			<在宅当番> 真庭市医師会		
	二次救急	津山中央病院		<輪番病院> 勝山病院 近藤病院 総合病院落合病院 金田病院 河本病院 真庭市湯原温泉病院 中山病院	津山中央病院	
	三次救急	<救命救急センター>津山中央病院		<救命救急センター>津山中央病院		
津山・英田	初期救急	津山中央病院		<在宅当番>各医師会		
	二次救急	津山中央病院		<輪番病院> 津山中央病院 津山第一病院	津山中央病院	
	三次救急	<救命救急センター>津山中央病院		<救命救急センター>津山中央病院		

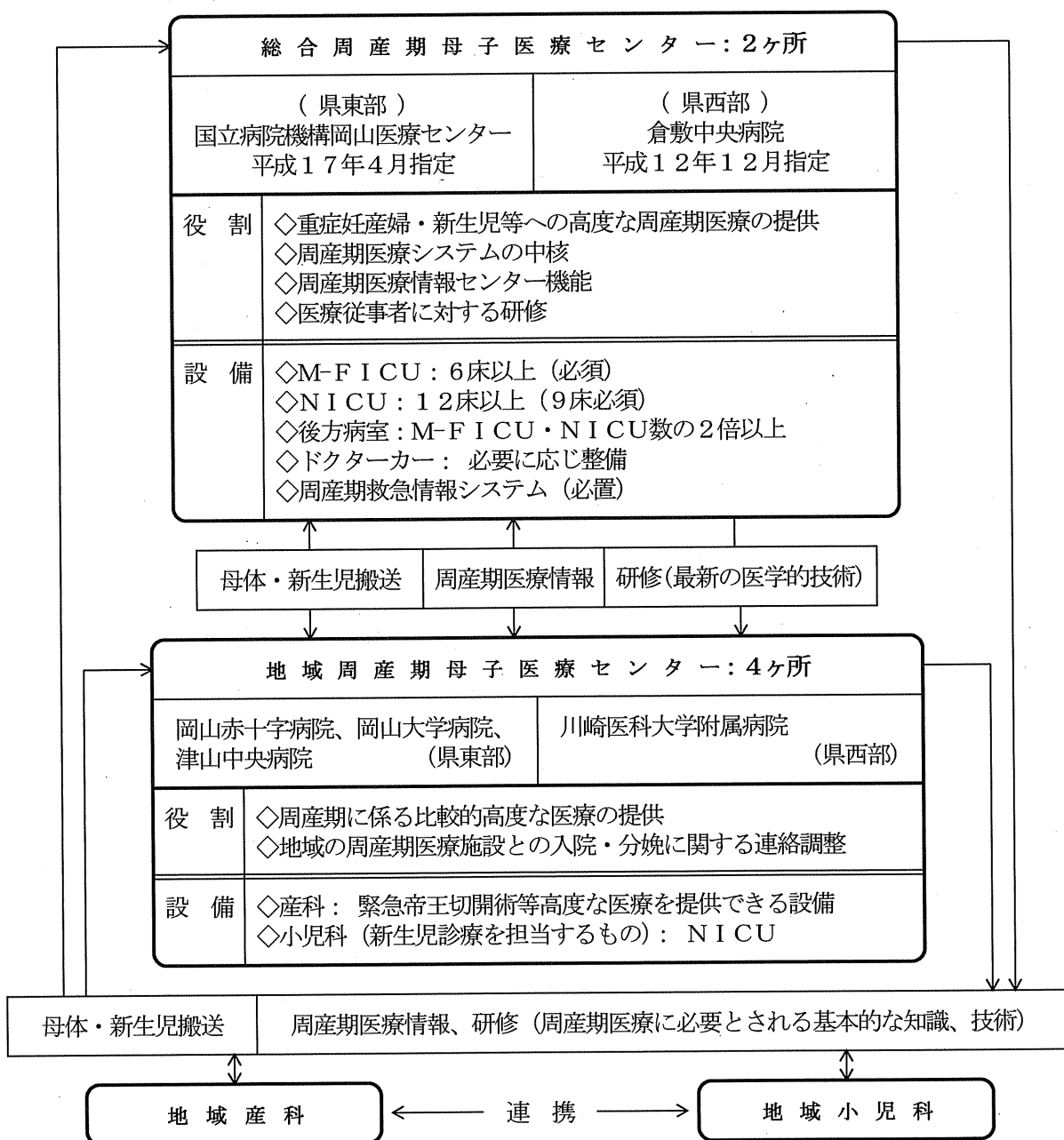
部分は、他の2次医療圏域の病院でカバーしているもの

## 周産期医療体制について

安全な妊娠・出産に向け、若年妊婦、高齢初妊婦、多胎妊娠等のリスクの高い母体・新生児に対し、高度な周産期医療を24時間体制で提供する2ヶ所の総合周産期母子医療センターと、4ヶ所の地域周産期母子医療センターが、地域の産科・小児科医療機関と連携を図っている。

○周産期医療：

妊娠満22週から生後1週間未満の母体・胎児・新生児に対する医療



## 岡山県医師確保総合対策について

平成20年5月30日  
岡山県医療対策協議会

医療対策協議会で取りまとめた「これからの医師確保対策と医療提供体制の構築について」を踏まえ、大学病院や中核となる病院、医療関係団体等が協働で、総合的な医師確保対策、産科・小児科の医療連携体制の構築に取り組む。

○関係団体が協働した取組等について

<u>行政の取組</u>	<u>協働の取組</u>	<u>関係団体の取組</u>
<p><b>【医師不足地域への医師派遣】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療対策協議会による医師派遣の調整、まとめと評価</li> </ul> <p><b>【県内で働く医師の確保、定着の促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治医師の養成確保 県内定着の促進</li> <li>○自治医師の配置</li> </ul> <p><b>【女性医師等の働きやすい環境整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○再就職の支援等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・復職支援窓口の設置、離職医師への再就職相談等</li> <li>・病院管理者等への研修の実施</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【産科、小児科医療連携体制の構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周産期母子医療センターの体制整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営支援、情報提供</li> <li>・研修会の開催</li> </ul> </li> <li>○小児救急医療体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県北地域等の医療体制等の検討、医師派遣への協力・支援</li> </ul> <p><b>【医学部地域枠の設置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医学部地域枠の設置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急臨時的医師養成増(5名)</li> </ul> </li> <li>○初期、後期研修医の県内定着促進</li> </ul> <p><b>【子育てしながら働きやすい職場づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子育てしながら働きやすい職場づくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育、病児保育、24時間保育等の充実</li> <li>・離職医師の再就職相談、情報提供等</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【周産期母子医療センターの運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周産期母子医療センターの運営</li> <li>○産科オープンシステム 診療所と病院が連携した安全な妊娠出産体制の構築</li> <li>○小児科オープンシステム 開業小児科医の参加による小児救急外来の実施</li> <li>○小児救急医療電話相談事業</li> <li>○受診のしかたなどの啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各病院による医師不足地域への医師の派遣等</li> </ul> <p><b>【医学部地域枠の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医学部地域枠の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山大学学士入学枠、川崎医科大学中四国枠の設定</li> <li>・大学院教育課程の充実</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【働きやすい就労形態等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働きやすい就労形態等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟な勤務形態等の導入(短時間、夜勤なし)</li> <li>・女性医師等を対象とした復職研修OJTの実施、研修希望者の随時受入</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【医療機関相互の連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機関相互の連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所、病院、周産期母子医療センター相互の連携の促進</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【産科等対応能力強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○産科等対応能力強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・産科・小児科研修医の受入</li> <li>・産科・小児科研修の充実</li> </ul> </li> </ul>

○ 取組の進め方

県民の求める質の高い医療を安定的に提供するため、医療対策協議会において継続的に検討し、対策の取りまとめや評価を行いながら効果的な対策に取り組むとともに、医師確保総合対策について、定期的に見直しを行うこととする。

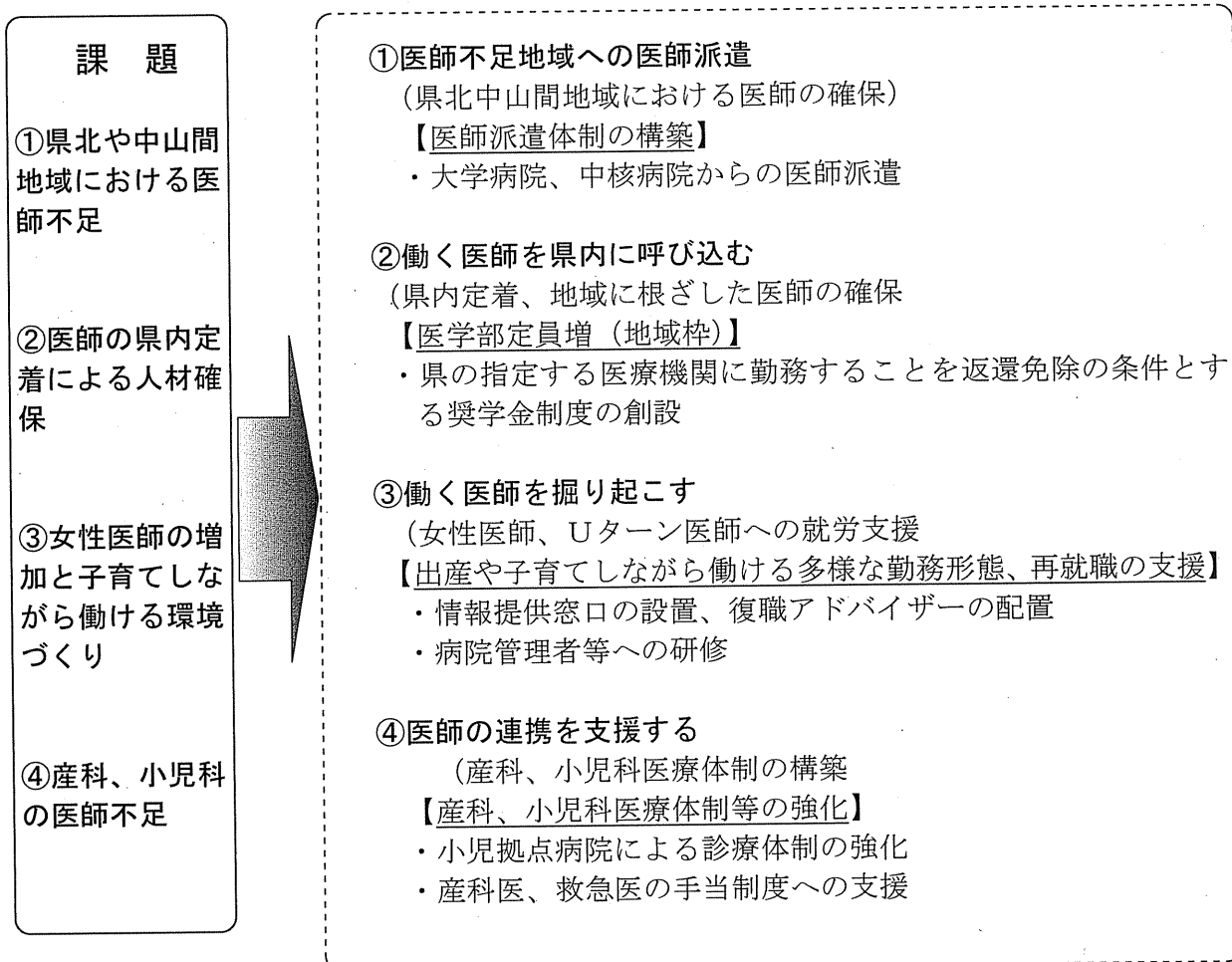
## 平成21年度の医師確保総合対策事業について（素案）

### 1 趣旨

岡山県の人口あたりの医師数は、県南部では全国平均を上回っているものの、県北部では全国平均を下回っているほか、産科医や小児科医が少ない地域もあるなど、医師の地域における偏在や不足を解消することは重要な課題である。

このため、県民が、いつでも、どこに住んでいても安心して医療が受けられるよう、市町村や住民、医療機関等が協働して地域で働く医師の確保と医療提供体制の整備に取り組む。

### 2 具体的な取り組み



(参考)

医療圏域別医師数

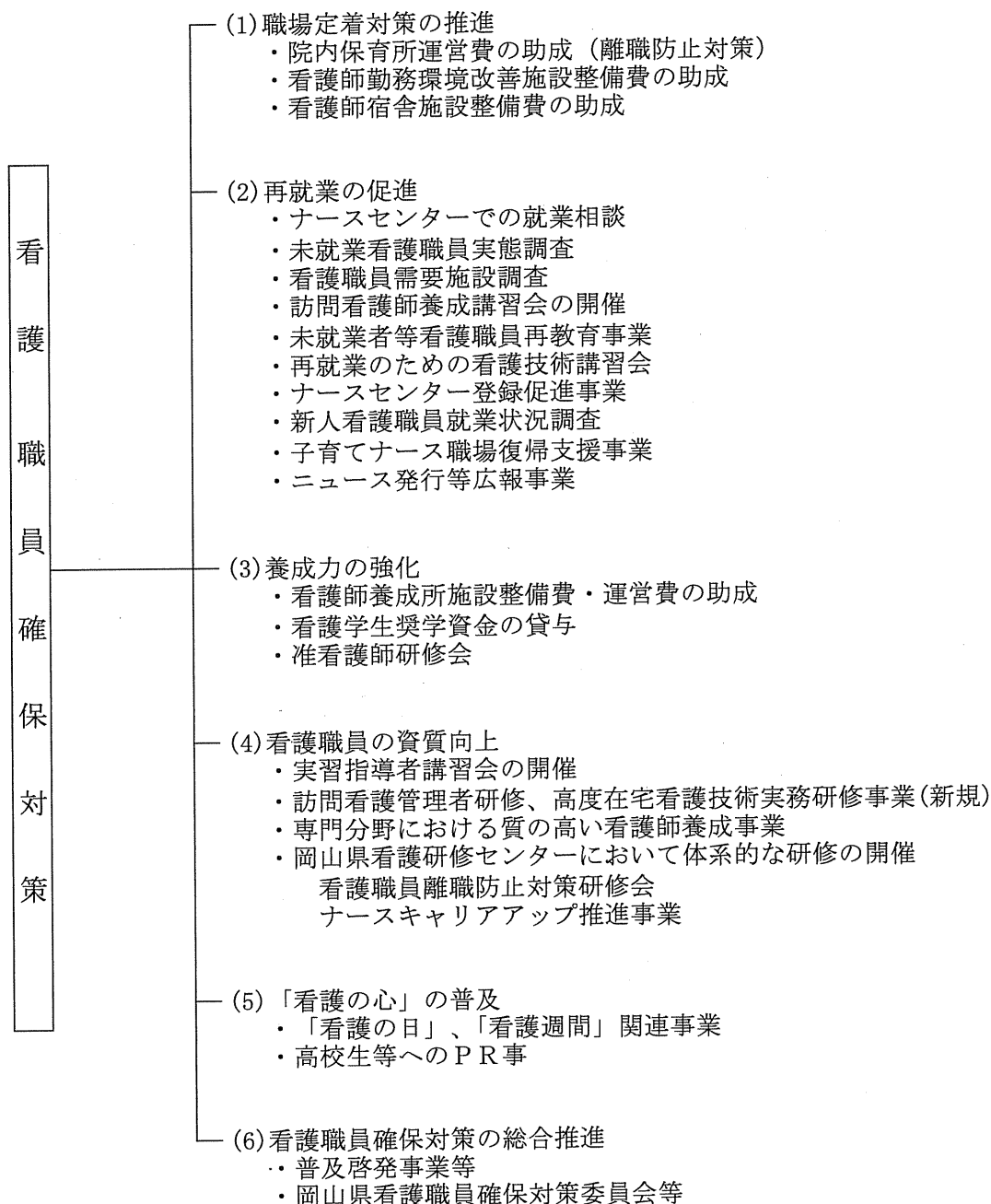
	平成10年	平成14年	平成18年	増減数(18-10)	増減率(%) 18/10
県南東部	2,383	2,548	2,625	242	10.2
県南西部	1,508	1,618	1,772	264	17.5
高梁・新見	120	107	100	△ 20	△ 16.7
真庭	98	102	83	△ 15	△ 15.3
津山・英田	303	330	332	29	9.6
合計	4,412	4,705	4,912	500	11.3

※医師・歯科医師・薬剤師調査の医療施設別従事医師数より

## 平成21年度岡山県看護職員確保対策事業(素案)

良質で適切な保健・医療・福祉サービスを提供していくための資質の高い看護職員を確保していくために、職場定着対策の推進や再就業の促進、養成力の強化などの対策を関係団体と連携し取り組んでいる。

### ○岡山県看護職員確保対策の体系



### ○岡山県における就業看護職員の状況

(人)

区分	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年
看護職員数	20,748	21,773	23,071	23,409	24,045

## 医師事務作業補助者（医療クラーク）について

勤務医の負担軽減を図るため、医師の事務作業補助を担当する者（医療クラーク）を配置した場合に、平成20年4月から診療報酬上で医師事務作業補助体制加算が新設された。

### （算定要件）

- 1 医師が必ずしも自ら行う必要のない書類作成等の業務について、医師以外の者に担わせる体制が整備されていること。
- 2 一般病床に入院した患者について、入院基本料等加算（入院初日）として評価する。

### （施設基準）

- 1 病院勤務医の負担軽減の計画策定、院内掲示。医師事務作業補助者は最低6か月の研修を実施すること。
- 2 医師事務作業補助作業の業務範囲は「役割分担」の通知に基づくこと。
- 3 「診療録等の記載について」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等に準拠した体制整備のこと。
- 4 以上の計画、体制整備に係る院内規定を文書で届け出ること。

### （医師事務作業補助者の業務範囲）

- 1 診断書等の文書作成補助、診療記録への代行入力、医療の質の向上に資する作業（診療に関するデータ整理、院内がん登録等の統計・調査、医師の教育や臨床研修のカンファレンスのための準備作業等）並びに行政上の業務（救急医療システムへの入力、感染症のサーベイランス作業等）への対応を医師の指示の下に行う。
- 2 医師以外の職種の指示の下に行う業務、診療報酬の請求事務、窓口・受付業務、医療機関の経営、運営のための基礎データ収集業務、看護業務の補助並びに物品運搬業務等については行わないこと。

### （加算点数）

医師事務作業補助体制加算（入院初日）		
1	25対1	355点
2	50対1	185点
3	75対1	130点
4	100対1	105点

### （病院の担う機能と算定可能な医師事務作業補助体制加算の関係）

病院機能	25対1	50対1	75対1	100対1
第三次救急医療機関	○	○	○	○
総合周産期母子医療センター	○	○	○	○
小児救急医療拠点病院	○	○	○	○
災害拠点病院	×	○	○	○
へき地医療支援病院	×	○	○	○
地域医療支援病院	×	○	○	○
救急入院患者を年間200人以上受け入れている医療機関	×	○	○	○